

東日本大震災によるライフライン被害データベース検討委員会  
第3回委員会（いわき市水道局訪問事前打ち合わせ）

議事録

出席者：楢田，庄司，鈴木，永田，能島，山崎，丸山（議事録） （敬称略）

1. 日時：2012年8月2日（木） 17:30～19:00

2. 場所：福島県いわき市

3. 議事次第

1) 委員長挨拶

・楢田委員長から挨拶があった。

2) いわき市水道局訪問に関する事前意見調整

・楢田委員長から福島県いわき市水道局から提供を受けたデータの説明および GIS 化の進捗状況について報告があった。

・いわき市水道局との共同研究に関する具体的な内容について議論を行い，委員会としての意見調整を行った。

3) データベースの取り扱いについて

・楢田委員長から，資料（データベースの取り扱いについて（たたき台案））に基づき，本委員会で収集したライフラインデータベースの共有化に関する説明があった。

・委員会終了時（2014年3月の予定）には，何らかの形で公開を目指す，具体的なやり方については今後継続的に議論することが確認された。

4) その他

・8月3日の集合場所，時間等の確認があった。

東日本大震災によるライフライン被害データベース検討委員会  
第3回委員会（いわき市水道局打ち合わせ）

議事録

出席者： 鎌田（議事録）、庄司、永田、能島、山崎、若松  
いわき市： 紺野、金成、則政、熊谷（敬称略）

1. 日時：2012年8月3日（金） 10:00～12:00

2. 場所：福島県いわき市水道局

3. 議事次第

1) いわき市挨拶

紺野次長より、挨拶があり、委員会の研究成果に期待している旨の話があった。

2) 委員長挨拶

鎌田から挨拶があった。

3) データベース作成状況についての説明

鎌田より、いわき市から提供された管路被害資料のデータベースの作成状況ならびに、地盤条件との重ね合わせの結果による管路被害率の特徴について説明があった。若松委員より、データベース化したいわき市の地形や地盤に関する解説があった。口径の情報については追加するとともに、データベースの精度についても確認することになった。

いわき市より管路被害データにおいて、継手の種類分けの情報を追加作成している状況報告があった。

4) いわき市からの水道施設更新指針の説明

則政氏よりいわき市の水道施設更新計画において、委員会の研究成果を反映したいとの要望があり、共同研究の可能性について検討した。管路の耐震性評価については、東日本大震災の結果を分析することで可能である。腐食程度の評価については、経年的な漏水事故の資料の有無で検討するか否かを判断することになった。

5) 共同研究の内容について

管路被害のデータベースとともに、配水区ならびに復旧過程のデータベースを構築することになり、いわき市に資料提供を依頼した。共同研究の内容については、これらのデータベースをもとに各委員が地盤や耐震性、システム特性、復旧過程、などをそれぞれ研究することになった。これらの研究成果の中で、いわき市の水道施設更新指針の策定に反映できるものは反映することとした。今年度中にある程度研究成果の見通しをたて、25年度の指針策定にあわせる。

6) 共同研究の協定書について

共同研究を行うにあたって、いわき市と学会との間で協定書を結ぶように準備することになった。協定書の書式サンプルは若松委員から送ることとなった。

7) データベース利用協議会設置の可能性について

本委員会で構築した GIS データベースを委員会外にも提供し、多方面から研究を後押し、学術成果をフィードバックする目的で、データベース利用にあつての諮問機関を設置することの可能性について検討した。新潟県中越地震や中越沖地震の事例について、委員から説明があつた。今後、いわき市で検討することになった。

8) 次回の打合せについて

2012 年 12 月中に研究成果の途中経過報告を含めて打合せを行う。日程は後日調整する。